

## CO・OP共済 地域ささえあい助成 2024年度 団体交流会を開催しました

共催：日本生活協同組合連合会

コープ共済連（日本コープ共済生活協同組合連合会、代表理事理事長：和田 寿昭）は、2024年10月25日（金）に「地域ささえあい助成 団体交流会」を開催しました。

「CO・OP共済 地域ささえあい助成」は、豊かな社会づくりを目指す活動の一環として、生協と地域の団体が協働して地域の暮らしを向上させる活動を支援する助成制度です。本交流会は助成団体間の「学び合いと交流の場の提供」を目的として毎年開催しております。

オンライン形式で開催された本交流会は、昨年を上回る88名（うち事務局14名、審査委員6名、オブザーバー8名）の参加となりました。



▲オンライン参加者の集合写真

### 【開催概要】

日時：2024年10月25日（金）13：00～16：30

内容：●基調講演

特定非営利活動法人協力アカデミー

代表 松原 明 氏

●助成金活用団体 活動報告1【協働たかめる助成】

生活協同組合コープこうべ

第一地区本部長 前田 裕保 氏

●助成金活用団体 活動報告2【協働はじめる助成】

特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク

代表 伊藤 千佐子 氏

●パネルディスカッション

●分散会交流・全体交流

●放課後交流（自由参加）

## ●基調講演

「協働を深め社会課題解決を進めるためのスキルとは」をテーマに、昨年引き続き、松原 明氏にご講演をいただきました。協力してほしい相手の「困りごと」「目的」を理解し、自身の活動がその解決に役立つように設計する「相利開発」と「協力者理解」のスキルについての講演は参加者から多くの反響があり、講演後の質疑応答等でも活発に意見交換が交わされました。



特定非営利活動法人協力アカデミー

代表 松原 明（まつばら あきら）氏

1960年大阪府生まれ。神戸大学文学部哲学科卒。広告制作会社、フリーの経営コンサルタントを経て、1994年、NPO 立法を推進する「シーズ・市民活動を支える制度をつくる会」を創設。著書に『協力のテクノロジー：関係者の相利をはかるマネジメント』松原明・大社充 著（学芸出版社）、『解説・NPO法案』『NPO法人ハンドブック』（シーズ）、『NPO法人定款作成マニュアル』（シーズ）など。

### <参加者の声（一部抜粋）>

- ・これまで、他組織との協力のキモは「give and take」だと考えていたが、「相利開発」がキモであると教えていただいたこと。協力をして目的を達成したときお互いが何を得られるか。今後はこれを行いながら、協力の仕組みをつくっていきます。
- ・「相利協力」の考え方はぜひ自組織で伝えていきたい（伝えていかねば）と思いました。地域猫活動のお話も分かりやすかったです。迷惑やトラブルの種もちょっとした工夫・コミュニケーションの仕組みでみんなハッピーになりますね。

## ●活動報告 【協働たかめる助成】生活協同組合コープこうべ

「あまがさき住環境支援事業REHUL（リーフル）における『居住支援の隙間の支援』」をテーマに、報告いただきました。「居住支援に至った経緯」や「地域とつながるために大切なこと」、「コープこうべが果たしている役割」等について報告いただきました。参加者からは「活動をする上で参考になることがあった」、「多様な関係者と協力して、課題解決に向かう様子が励みになり、頑張ろうと思えた」等の反響の声がありました。

地域ささえあい助成は2012年度から開始し、2024年度で13年目を迎えました。今後も、生協と地域で活動・活躍される団体が、地域にくらす人々の想いに共感し、地域の困りごとや課題を共有し、それぞれの役割を発揮しながら協働して活動するためのきっかけや後押しとなる制度を目指します。

■ 地域ささえあい助成の詳細は下記をご覧ください。

<https://coopkyosai.coop/csr/socialwelfare/>

### お問い合わせ先

日本コープ共済生活協同組合連合会 渉外・広報部 （担当 大塚・西本）

TEL：03-6836-1320／FAX：03-6836-1321（平日10時～17時 土日除く）

e-mail：[kyosaiinfo@coopkyosai.coop](mailto:kyosaiinfo@coopkyosai.coop)

